

数学序論演習に対する注意

- 演習の目的は (1) 各自が演習を通じて理解を確かなものにする事、(2) 私が全体の理解度を把握する参考にする事、にあります。
- だから、課題を提出しないことで不利になることはありません。
- ただし、提出するとほんの少しだけ有利になります。
- 演習中、私への質問、近くの人との相談・質問は自由に行ってかまいませんが、立って歩いたりはしないで下さい。相談可ですが、あまりうるさくならないようお互いに注意して下さい。
- 講義時間終了前にできた人は提出して退室してもかまいません。
- 課題は時間の終わりまでには提出して下さい。
- ただし、時間内の演習が不十分と感じた人が追加のレポートを提出することは OK です。提出を希望する学生は直接研究室へ持参して下さい。
- 演習問題の解説を適当な時期にネットに載せます。ただし講義で配ることはしません。演習問題解説に間違いを見つけた人は連絡をお願いします。
- 提出された課題は default では返却しません。自分で参考にしたい等返却を希望する学生に対しては返却するので、提出後 2 週間以降を目途として研究室に来て下さい。
- 演習問題のすべてを演習時間にやることはできません。できない問題は各自学習して下さい。
- 演習問題の中に星印のついた問題があります。これは解くと理論に対する理解が深まる問題であるが、困難性も多く、全員に解くことを要求はしていない問題です。意欲のある人は積極的にチャレンジして下さい。
- 演習問題の提出用紙には名前と番号を書いて下さい。番号は次の様に記入して下さい。再履修の人は学生番号 10 桁をフルに書く。

1年生は自分の学生番号の6桁目から9桁目までを抜き出し、先頭部分に何個かの0があればそれを略したものを書く。

例えば学生番号が1310802305の場合、6桁から9桁を抜き出すと0230なので230と書く。